

1) 2020年度通常総会

新型コロナウイルスに感染拡大の影響により2020年度支部通常総会は例年の集合型を取りやめ書面による表決のみとし、議案書を会員へ発送後下記スケジュールで進められました。

5/8(金)締め切りで質疑受付。(回答は会員へ公開)。

5/13(水)書面及び委任による表決の回答期限。

5/15(金)幹事にて集計。議長は遠藤支部長を選出する。幹事から議事録署名人を指名。

5/19(火)結果を会員へ告知。→会員数141名、80名回答(書面表決45名・委任表決35名)、質疑なし

2) 支部総務グループ

毎回 幹事会において審議される 第1～第4 四半期決算の準備と事前審査をおもに行いました。

本年度は新型コロナの影響により各事業の執行が困難なため

公益会計における事業費の支出がほぼ無い、特殊な決算報告となりました。

年度末には JIA が内閣府に提出するための支部2021年度仮予算案を、仮決算をもとに作成して提出しました。

3月末の決算確定後 次年度の予算案を作成して 本総会に提出します。

3) 本部財務委員会(新貝孝之)

2020年7月14日(火)より毎月1回開かれる 本部財務委員会(WEB方式・JIA館5階応接室)

に毎回出席いたしました。おもな内容は

- ・2020年度 JIA 事業活動助成について 公益性の審査を行い 補助の有無、補助金額、活動報告の審査を11月7日に本部にて集合形式で行われる予定でしたが、新型コロナの影響で急遽 WEB 形式となりました。
- ・2018～2019年度の財務諸表を作成して 理事会における意思決定のために必要なデータを提供する。

—— 職責グループ ——

リーダー 中原隆一

今年度は職責に関わる事案が無かったためグループの活動はありませんでした。

また、会員の入退会についての審査・承認作業がありました。

正会員：入会2名、退会4名（何れも異動含む）

シニア会員：退会1名

ジュニア会員：入会1名

学生会員：入会5名

協力会員：入会：1社、退会2社

1) JIA 北海道支部 ホームページ 会員情報の確認・更新

- 支部ホームページの会員情報を確認し、最新の情報に更新する作業を行った。

2) JIA 北海道支部 ブログ リニューアル

- 北海道支部の活動や情報を、より手軽に知ってもらえるために支部ブログをリニューアルした。本部や支部の情報や会員紹介・協力会企業・商品紹介などを中心に、正会員と協力会を交互にブログ投稿し、活動の情報をリアルタイムに発信している。

3) HOKKAIDO ARCHITECTS パンフレットの作成・発行

」

- 2021年度に向けての活動計画・支部組織図・正会員・法人協力会名簿を掲載したパンフレットを作成・発刊した。

—— 業務委員会統括グループ ——

グループリーダー

齊藤 文彦

1) 2020年度活動

- 会議出席にて渉外対応
 - ・ 赤レンガ建築賞委員会（時期変更あり）、全道建築確認円滑化会議（中止）

—— 職能業務グループ ——

グループリーダー

菅原秀見

1) 北海道建築設計会議への参加

建築設計関連11団体（10団体＋新聞社）で構成される会議体で、年間10回開催された。建築設計の団体に加え、設備設計、構造設計、積算などの団体で構成され、幅広い情報交換の場となっている。各団体で共通する議題をテーマとし、働き方改革、設計報酬、リスク対応などについて議論を行い、後半は各団体におけるコロナの影響、コロナ対応などについて意見交換を行った。1月の会議は対面で行ったが、2月～5月までの会議はメールによる各団体からの報告をもって会議とした。6月以降は環境を整え Web 会議による開催とした。

—支部建築家資格制度実務委員会—

委員長：大田司（本部委員）

副委員長：中藪則喜（本部委員長）

委員：山之内裕一、羽柴功一、澤康昌

■ 本部・資格制度実務委員会・職能資格制度委員会（WEB会議）

2019年3月第254回理事会にて「支部認定評議会の廃止方針」が決議されたのを受け、以下の資格制度関連規則類の改定を進めました。

- ・建築家資格制度規則と細則
- ・登録建築家審査マニュアル、登録管理マニュアル、認定評議会マニュアル

下記部会を設け、作業を継続しています。

あ. 資格制度（セミナー関連）

い. 専業、兼業問題

う. 実務訓練部会

え. J5再認識・プロモート（パンフレット作製）

お. TK通信

か. 民間ライセンス研究

き. UIA英訳

■ 登録建築家更新・再登録審査

2月24日、申請内容の調査を支部資格制度実務委員会で行い、2021年3月24日に登録建築家の更新・再登録の認定評議会を行いました。

今回の更新者は北海道支部全体で12名です。内訳は、細則9条1による更新者11名、同9条3による更新者1名です。再登録については3名です。いずれも細則10条1項による再登録で承認されました。

■ 登録建築家の新規認定審査

新規申請が1件ありました。支部資格制度委員会で調査し、新規認定相当と認め本部認定評議会へ審査結果を送付しました。

その結果3月24日の本部認定評議会で1名の新規登録が認定されました。

■ 支部資格制度委員会での意見（登録建築家セミナーについての意見交換）

- ・4/8開催予定の登録建築家セミナーについての内容含めて意見交換を行いました。
 - ・東海支部でのセミナーのプログラムは細かい部分まで詰められて良いが、もう少し興味を持ってもらうために平易にしたほうがよいのではないか。
 - ・プログラムとしては、実務訓練制度について他、支部での登録建築家のコンペの紹介等も入れてはどうか。←登録建築家のインセンティブの話で興味を持ってもらう。
 - ・登録建築家のWEBページのあり方も議論が必要。
 - 認定時のものはそれとして、ポートフォリオが最新のものが見れるようにしてはどうか。
 - 利用する人が目的の建築家を絞り込めるような検索機能。
 - 仕事にも繋がるようなWEBページとなっていない。
 - WEBページ自体の体裁がここに加わりたいというような魅力度に欠けるのではないか。
- 以上、2020年度、支部建築家資格制度実務委員会の活動報告です。

—— 本部建築家資格制度実務委員会 ——

委員長 中 藪 則 喜
副委員長 大 田 司

1) 主な活動

職能・資格制度委員会との合同会議を毎月開催、必要に応じてメール稟議を行いました。
主な活動は以下のとおり。

- 資格制度規則、細則、マニュアル（3種）の改定作業及び理事会対応
- ホームページ掲載の登録申請説明書の改定作業
- 新規、更新、再登録対象 J I A 正会員のために、申請登録呼掛けの案内説明メール配信
- 支部実務委員会と協働し、新規、更新、再登録申請者の調査、確認作業
- 2020年度第1回、第2回認定評議会（メール審議）の開催準備、補佐
- 2020年度第3回認定評議会（Zoom会議）の開催準備、補佐

2) 建築家認定評議会

定期、臨時合わせて3回認定評議会を開催、審議結果は以下のとおり。

- 2020年8月 第1回認定評議会（臨時・メール）資格制度規程類改定案を決裁
- 2020年11月 第2回認定評議会（臨時・メール）資格制度規程類改定修正案を決裁、登録削除者の承認（2名）
- 2021年3月24日 第3回認定評議会（定期・Zoom）登録申請者の審査、制度に関する意見交換など（登録審査結果）
 - ・新規登録 申請者27名 合格者26名
 - ・更新 申請者289名 合格者287名
 - ・再登録 申請者44名 合格者41名

以上

—— 災害対策グループ ——

グループリーダー 齊藤 文彦

1) 2020年度活動

- グループ会議は、コロナ対策中で大きなイベントができず、開催できなかった。
- 本部対策会議は、毎月開催（WEB会議）
 - ・本部ホームページに、これまでの活動と災害時のJIAの対応を載せるべく協議中。
 - ・全国での連携ができるよう、支部役員及び災害対策会議の主要連絡網の整備中
 - ・2021年のSDGsフォーラムに向けた対応協議中。（プレフォーラムは3/13開催）
（災害対策、環境、まちづくり、保存再生会議代表の議題提示。本番は、6月）

—— まちづくりグループ ——

グループリーダー 小倉寛征

きた住まいるヴィレッジについて道庁から3業務（住宅展示場に係る調整等業務、普及啓発資料作成業務、ヴィレッジの住宅等に係る設計ルール等検討業務）の委託を受注。
2021年3月に3業務とも納品をして業務完了。

—— 住宅グループ ——

グループリーダー

名古屋英紀

- 住宅等小規模建築会議の来年度立ち上げ準備を担う小規模建築 WG を発足。
2020年10月より月に一度 計6回、全国支部のメンバーと WEB 会議を行い、全国会議に
上げる為の立案をまとめた。

—— 建築展グループ ——

グループリーダー 前川尚治

1) 2022年開催予定の(仮称)北海道建築展

■ 2022年開催予定の(仮称)北海道建築展に向けての準備

小西支部長、鷺見副支部長、照井副支部長、赤坂副支部長、前川グループリーダー、メンバー11名含め、開催へ向けての打ち合わせ。

※2020年10月7日打ち合わせスタート。その後複数回打ち合わせ。

現在は開催時期、会場含め、進行中。

今年度中に建築展の内容、予算、規模その他含めて決定する予定です。

旭川地区会

グループリーダー 石田 純枝

■ 2020年4月3日（金） 18:30～

展覧会実行委員会会議 : 6月開催予定「生き続けるモダニズム建築」展開催についての協議
来年度以降に延期を決定

■ 2020年6月12日（金） 18:00～ 9名出席

旭川地区会会議 : 2020年度の支部の新体制について
旭川地区グループリーダーの交代、
今年度のコロナ禍にあつての活動について
・8月に日帰り出張 Asahikawa School の開催検討

■ 2020年8月7日（金）終日 延参加人数 15名

Asahikawa School vol.48 開催 : 初めての終日日帰りアウトリーチ開催
旭川会員7名 会員外5名、札幌参加3名 計15名の参加
協力会 PS の工場見学、鈴木理さんアトリエ訪問

■ 2020年9月15日（火） 18:00～ 初めての zoom 開催 8名出席

旭川地区会会議 : Asahikawa School 48 の報告
柳さんより8月20日のグループ会議の報告
今後の活動について、協力会とのセミナーの調整中

■ 2020年11月28日（金） 13:30～

Asahikawa School vol.49 開催延期

■ 2020年12月26日（土） 18:30～ zoom 開催

旭川地区会会議 : 支部会議の報告
来年6月「生き続けるモダニズム建築」展開催についての協議
zoom のアカウント情報 使用について

Asahikawa School vol.49 & zoom 納会同時開催 : スピーカー、大矢、佐々木の発表を聞きながら
各自 PC 前でお酒とおつまみ

■ 2021年1月29日（金） 18:30～zoo 併用開催

17名出席（函館地区水谷さん、道東地区眞壁さん zoom 参加）

「生き続けるモダニズム建築」展運営委員会 : 初回委員会 役割等について協議
今後はグループごとに計画を進めリーダー間で連絡

■ 2021年2月～3月 各担当ごとに4回程度の開催 zoom 併用開催

「生き続けるモダニズム建築」展運営委員会 : 展示計画、イベント、広報等について協議

—— JIA スクール グループ ——

グループリーダー

齊藤 文彦

1) 2020年度活動

- グループ会議は、コロナ対策中で大きなイベントができず、開催できなかった。
- 第7回 JIA スクール
 - ・ テーマ： 「ケンバイ勉強会」
 - ・ JIA の会員が安心して業務を遂行するための建築家賠償保険についての勉強会。
 - ・ 参加者：12名
 - ・ 開催方式：ZOOM ミーティング。
 - ・ 公益事業、CPD 登録あり。

——建築大賞グループ——

グループリーダー 大杉 崇

1) 2019年度表彰式

■ 2020年5月

コロナの影響により総会の中止、それに伴い JIA 北海道建築大賞2019の表彰の中止。
各受賞者には賞状及び盾を事務局に取りに来ていただく。

—— テスクコンペグループ ——

グループリーダー 鈴木理

第11回 JIA・テスクチャレンジ設計コンペは、『冬を楽しむ半屋外空間』をテーマに開催しました。当初は、例年通り、札幌駅前通地下広場「ドオリ HIROBA」での公開審査を予定しておりましたが、コロナ禍の状況を鑑み、コンペ継続の判断を検討の上、1次審査2次審査ともに審査委員および実行委員のみによる ZOOM 審査を下記の概要にて実施しました。

審査委員長 小柳 秀光氏（北海学園大学）

審査委員 絵内正道氏、山脇克彦氏、平尾稔幸氏、米花智紀氏

- ・登録締切り：5月12日
- ・作品データ提出締切：5月30日
- ・1次審査結果発表：6月19日
- ・2次審査結果発表：7月27日

応募数67作品、1次通過作品数15、最優秀賞1点、優秀賞2点、審査員賞5点

—— 卒業設計グループ ——

グループリーダー

中舘 誠治

1) JIA 全国学生卒業設計コンクール2020

2020年10月3日 JIA 館（東京） 1階ラウンジ （オンライン審査）

全国より約50作品（北海道3作品）が出品。コロナ感染拡大防止のため、オンラインでの審査及びYoutubeにて2次審査のライブ配信を行う。

作品冊子 3月に完成 協賛。事業協力 各社へ配布

2) JIA 北海道学生卒業設計コンクール2021

2021年3月15日 北海道芸術デザイン専門学校（オンライン審査会場）

コロナ感染拡大防止のため、オンライン審査及びYoutube配信を行った。
道内各学校より、27作品が参加。全国へ推薦される金・銀・銅賞のほか審査委員特別賞3点を選出総会にて表彰の予定。賞状及び金・銀・銅賞へは審査委員川上りえ様作のトロフィーを贈呈。

審査委員 佐藤孝、赤坂真一郎、川上りえ（彫刻家）

（審査結果）

金賞 丘のモノサシ 国貞 佑弥 室蘭工業大学

銀賞 共生建築～変動する大地の上で～ 原 辰徳 北海道科学大学

銅賞 shoma and・・・～さみしがりやな僕の、おおげさでささやかな建築的行為～
上村 祥馬 北海学園大学

審査委員特別賞

高解像度の森に住まう 越後駿太郎 北海道科学大学

Microcosmos 佐藤 春樹 北海道芸術デザイン専門学校

知り、感じ、考える。～鉄道自殺の博物館～ 原田 芳貴 星槎道都大学

—— HK アワードグループ ——

グループリーダー

小倉寛征

2020年4月に第5回HKデザインアワードの1年延期を打ち合わせにより決定。

2020年12月に来年度のスケジュール、審査委員を下記の通り打ち合わせにより決定。

- ・募集開始：2021/7月、一時審査（書類）：9月、二次審査（現地）：11月
- ・審査委員（2020年1月に依頼済み）については変更なし。

1) 令和2年度(2020年度)高校生建築デザインコンクール

- 設計課題：南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅
～夫婦2人に子供2人がいる子育て世帯が住む庭付き一戸建ての北方型住宅の提案
- 構造規模：構造は問わない。平屋または2階建て 一棟 延床面積120m²程度
- 質 疑：2020年7月 3日(金)から2020年7月16日(木)
- 回 答：2020年7月22日(木)
- 応募締切：2020年12月15日(火)

選定委員会：2020年12月22日(火) 北海道第二水産ビル 4階 4階会議室

応募総数：144作品

入選作品：最優秀作品賞 1 作品
優秀作品賞 3 作品
佳作 4 作品
特別賞 2 作品

作品展示：2021年1月12日(火)から2021年1月13日(水)
展示場所：北海道庁1階広報コーナー特設展示場A(全144作品の展示)

主 催：北海道
共 催：公益社団法人 日本建築家協会北海道支部
一般社団法人 北海道建築士事務所協会
一般社団法人 北海道建築士会

2) 北のジュニア・オープンデスク

- コロナ禍の影響により安全を鑑み今年度は中止とした。